



2020年5月14日

各位

会社名 株式会社ヒガシマル  
 代表者 代表取締役社長 東 勤  
 (コード番号 2058)  
 問合せ先 執行役員管理部長 田之畑 武  
 (TEL 099-273-3859)

## 2020年3月期通期業績予想と実績値との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

2019年11月13日に公表いたしました2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の通期業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、2020年3月期において特別損失(減損損失)を計上いたしましたので、お知らせいたします。

## 記

## 1. 業績予想と実績値の差異について

2020年3月期通期連結業績予想と実績値との差異(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 12,834	百万円 227	百万円 318	百万円 129	円 銭 33.43
実績値(B)	12,442	△210	△90	△449	△116.03
増減額(B-A)	△391	△437	△408	△578	
増減率(%)	△3.1	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	12,232	294	431	262	57.94

2020年3月期通期個別業績予想と実績値との差異(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 7,356	百万円 209	百万円 403	百万円 274	円 銭 70.75
実績値(B)	7,431	185	394	△236	△61.04
増減額(B-A)	75	△23	△8	△510	
増減率(%)	1.0	△11.0	△2.2	—	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	6,948	103	354	252	55.79

## 2. 差異の理由

新型コロナウイルス感染拡大により各魚種の需要が減少し、魚価が低迷するなど当社グループの水産事業活動において、大きな影響を受けております。また、連結子会社において、養殖事業における生産不調による出荷制限や在庫の評価減等もあり、業績が悪化したことなどから、前回予想を大きく下回りました。また、これらの影響に加え、子会社の奄美クルマエビ株式会社の収益性が低下し、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき特別損失に減損損失 172 百万円を計上したことから、親会社に帰属する当期純利益は前回予想を大きく下回りました。

## 3. 特別損失の計上

子会社の奄美クルマエビ株式会社が保有する固定資産において、収益性が低下している経営状況や新型コロナウイルスの感染拡大による影響を踏まえ、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当該固定資産に係る回収可能性を検討した結果、減損損失 172 百万円を特別損失に計上いたしました。

なお、2020 年 3 月期の連結及び個別業績への影響につきましては、「1. 業績予想と実績値の差異について」に記載の通りです。

以上